

精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪(IPP0)

2021 年度訓練生募集のご案内

精神分析的サイコセラピーの普及を目指し、2016年に精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪 (Institute of psychoanalytic psychotherapy Osaka) は設立されました。訓練コースを始動し4年がたち、2名が修了、現在15名の訓練生が在籍しております(うちコンサルタントコース1名)。すでに3名は日本精神分析学会の認定心理療法士を取得し、1名は認定心理療法士スーパーバイザーを取得しました。

IPP0では、精神分析的サイコセラピストの質の高い訓練を行っています。そのため、精神医療や臨床心理学の専門家が日本精神分析学会の精神分析的療法医・心理療法士の認定を受けることができるように手助けするだけでなく、認定取得後も、精神分析的セラピストとして活躍できる技量が身につくような訓練を提供します。また、2019年度より新たにコンサルタント・セラピスト養成コースを設立し、従来海外留学以外では育ちにくかった、精神分析的セラピーの指導者養成にも力を注いでいます。

コロナ禍の困難な状況ではありますが、IPP0では2021年度の訓練生を募集します。以下に募集要項の概略を紹介いたします。詳しくは、当会のHPに掲載されている募集要項と訓練のアウトラインをご確認のうえ、お申込みください。

IPP0 2021 年度訓練生募集要項の概略

正規訓練生応募資格

1. 医師の場合には精神保健指定医であるか、または2年以内に精神保健指定医の取得が見込まれること。もしくは、6年間以上の精神科領域(心療内科領域を含む)での経験を証明でき、精神保健指定医に準ずる経験と技能を有することが、ケースレポート等にて証明できる者。心理士の場合には、臨床心理士資格取得後5年以上の臨床経験を有すること。医師、臨床心理士以外の場合では、上述の条件に準ずる臨床経験を証明できる者。
2. 日本精神分析学会にすでに入会していること(所属期間は問わない)。
3. 日本精神分析学会認定の研修グループの提供する系統講義を1年間(25時間)以上修了していること。
4. 日本精神分析学会認定の研修グループの提供する症例・事例検討会に1年以上参加の経験があること。
5. 週1回以上の個人セラピーをすでに受けているか、内的にも外的にもセラピーを受ける準備がある者。
(個人セラピーは、IPP0の認定するセラピスト/分析家から受けるものとする)

移行訓練生の応募資格

1. 日本精神分析学会が定める認定要件のいくつか、例えば認定スーパーバイザーによるスーパービジョン付きでの分析的臨床の1年間以上続いた症例をすでに1、2例終えているなどの要件を満たしており、認定取得の途上にある医師、あるいは臨床心理士で、当インスティテュートでの研修やチューター制度の利用を希望する者。
2. 応募資格要件は、正規訓練生要件の1~5を満たすものとする。

*詳細は、HP上の「IPP0 訓練アウトライン」及び「募集要項」をご参照ください。

募集人数 正規訓練生：医師、心理士合わせて2名 移行訓練生：3名以内

選抜方法 書類審査(小論文、履歴書、推薦状2通による審査)と面接

募集期間 2020年11月1日(日)~2021年1月12日(火)

問い合わせ先

精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪(IPP0)

〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目1番40号エスト・ヌーヴォー201号 大阪心理臨床研究所内
TEL/FAX: 06-7162-6985 E-mail: ippo.office2017@gmail.com URL: http://ippo2017@gmail.com

IPP0 理事

平井正三(会長) 小林俊三(副会長)

吾妻 壮 鈴木千枝子 近松典子 辻河昌登 津田真知子 飛谷 渉